

様式第1号

会 議 録

会議の名称	令和5度 第3回所沢市立所沢図書館協議会		
開催日時	令和6年2月1日（木）午前10時～11時30分		
開催場所	所沢市役所 604会議室		
出席者の氏名	熊本純利、喜多濃定人、河本直子、秋本敏、高橋宏司、及川道之、齋藤千里		
欠席者の氏名	内山直樹、針生清美、藤本浩志		
説明者の職・氏名			
議 題	（1）第3次所沢市図書館ビジョンの基本方針について （2）その他		
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回所沢市立所沢図書館協議会次第 ・ 第2次図書館ビジョン【資料1】 ・ 所沢市図書館ビジョンについて【資料2】 ・ 第2次所沢市図書館ビジョンの成果と課題【資料3】 ・ 各分館利用者懇談会 日程表【参考1】 ・ 所沢ゆかりの作家・著者一覧【参考2】 		
担 当 部 課 名	教育委員会	教育長	中島秀行
		部長	千葉裕之
		次長	池田淳
	所沢図書館	館長	橋本 浩志
		主査	下村恵利子
		主査	荒井英子
		主査	吉田隆幸
		主査	小澤朋子
		主査	本橋佐和
		主任	鎌田優子
			所沢図書館 電話04-2995-6311

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>1 開 会</p>
	<p>以下、館長が進行</p>
事務局	<p>内山委員、針生委員、藤本委員より「所用のため欠席」との連絡をいただいている。</p>
教育長	<p>2 挨拶</p>
会長	<p>協議に先立ち、会議の公開について、規定により原則公開となっているがよろしいか。</p>
	<p>委員了承</p>
	<p>会議録署名人は及川委員、秋本委員とし、記録方法については、要点筆記とする。</p>
	<p>「発言者」及び「答弁者」の記載方式について、発言者の委員名は「委員」とだけ記載するがよろしいか。</p>
	<p>委員了承</p>
事務局	<p>傍聴者3名</p>
事務局	<p>資料の確認</p>
	<p>3 議事</p>
事務局	<p>(1) 第3次所沢市図書館ビジョンの基本方針について</p>
	<p>①「図書館ビジョンの位置づけ」について説明。</p>
	<p>策定根拠としては、図書館法第七条の二に基づいている。位置づけとしては、上位計画である第6次所沢市総合計画、第3次所沢市教育振興基本計画と整合性を図る必要がある。第3次所沢市図書館ビジョンの計画期間は令和7年度から令和11年度の5年間となる。</p>
会長	<p>質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>意見なし。</p>
事務局	<p>②「第2次所沢市図書館ビジョンの成果と課題（1.暮らしを支える、2.学びを支える）」について説明。</p>

事務局	<p>「基本目標 1.暮らしを支える」については、(1)課題解決の支援、(2)レファレンスサービスの充実と利用促進、(3)魅力ある空間づくりの3つの事業施策で構成されている。</p> <p>取組と成果としては、市民の課題解決を支援するため、レファレンスサービスを継続して行い、事例の一部を国立国会図書館レファレンス協同データベースに毎年120件公開。多くの方が閲覧したことにより、国立国会図書館より「御礼状」を毎年拝受している。</p> <p>市民が自ら調べられるよう「パスファインダー」(調べ方案内)を毎年3種発行し、新茶まつりや空飛ぶ音楽祭など市役所他課と連携しながら、関連のパスファインダーを配布して利用促進に繋げた。</p> <p>専門情報機関と連携し、市民の課題解決に役立つ情報を積極的に収集した。国立がん情報センターの「がん情報ギフト」プロジェクトに参加しリーフレットの配布を行う等、健康・医療コーナーの充実が図られた。また、中小企業庁や商工会議所から就業や起業に関する情報紙を収集して配布し、ビジネスコーナーの充実も図られた。</p> <p>課題としては、レファレンスサービス体制(専門性を有する職員の確保や育成)を強化するとともに、図書資料やデータベースなど様々なレファレンスツールの充実と活用を図る必要がある。最も大きな課題としては、コロナ禍もあり積極的に取り組めなかった、居心地のよい「居場所」としての魅力ある空間づくりについて進める必要がある。</p>
事務局	<p>「基本目標 2.学びを支える」については、(1)資料収集と蔵書構成の充実、(2)情報提供能力の充実、(3)多様な学習機会の提供の3つの事業施策で構成されている。</p> <p>取組と成果としては、「所沢市立所沢図書館資料収集方針」に基づき、地域の情報拠点としての機能を十分に発揮できる種類と量の資料収集・整備に努めた。また、所沢を中心とした地域の郷土資料の遡及・網羅的な収集に努め、市民への資料提供を行った。</p> <p>視聴覚資料の貸出点数を、これまでの2点から、CD3点・DVD2点に拡大したことにより利用促進に繋がった。</p> <p>図書館ホームページを活用した広報や情報提供などを積極的に行い、オンラインでのサービスを拡充し、利便性の向上が図られた。</p> <p>課題としては、多様化する市民ニーズを捉えて、信頼性の高い情報や貴重な資料の収集を継続して行うとともに、新聞記事等のデータベースの更なる充実を図ること。電子図書館サービスの開始と充実、郷土資料のデジタルアーカイブ化(活字や写真等の資料をデジタル情報として記録・保存し、ネットワークを用いて提供すること)など、情報提供能力の拡充を図る必要がある。</p>
会長	<p>質問、意見、その他課題はあるか。</p>
委員	<p>各分館でのレファレンスサービスについて、新所沢分館でのモニタリング時にもレファレンスサービスについて伺ったが、分館によって力量に差があるのか。</p>
事務局	<p>受ける件数が力量にもつながっていると思う。昨年度の統計では、本館は3</p>

事務局	<p>86件、所沢分館98件、椿峰分館55件、狭山ヶ丘分館67件、富岡分館46件、吾妻分館34件、柳瀬分館41件、新所沢分館118件。新所沢分館は夜9時まで開館していることから、分館の中でも最も件数が多くなっている。</p>
委員	<p>レファレンスについて、研修は外部の研修に参加しているのか。また、分館でわからないものは本館に問い合わせしているのか。</p>
事務局	<p>研修は各分館で行っている。本館では毎年、埼玉県立図書館主催のレファレンス研修や文化庁の著作権研修に参加している。国立国会図書館主催のレファレンス協同データベース研修は抽選のため、参加できない年もある。研修の内容は全職員に回覧している。館内で著作権やレファレンスの研修も行っている。分館のレファレンスでわからないものについては、本館で調べてフィードバックしたり、分館の職員が本館に来た時に調べていくこともある。</p>
委員	<p>レファレンスは来館した方だけのサービスなのか。</p>
事務局	<p>パスワードを登録した方はマイページからも受付している。電話やメール、FAXでも受付している。利用登録のない市外の方についても、所沢市や埼玉県の郷土資料に限り受付している。</p>
委員	<p>件数の取り方はいろいろあるが、所沢図書館では、どの範囲までレファレンスとして統計をとっているのか。</p>
事務局	<p>図書館のレファレンスは一般的に質問全てがレファレンスとして捉えられている。所沢市では簡単な蔵書検索は件数に含まれていない。職員が自ら資料の内容を確認したもののみをカウントしている。所沢図書館は厳しい取り方をしているので、他市と比べると件数は控えめとなっている。</p>
委員	<p>データベースについて、具体的にはどのようなものを充実していくのか。</p>
事務局	<p>郷土資料のデジタル化が課題となっている。来年度4月から試行的に電子書籍の導入を予定している。</p>
委員	<p>小学3年生で郷土の勉強をしている。学校の図書館にも郷土資料があるが、郷土資料がデジタル化された場合は、図書館から学校図書館にネットワークを通して提供できる可能性はあるのか。</p>
事務局	<p>デジタル化には著作権の許諾が必要である。現在許諾が取れているのは家庭新聞のみであるが、ゆくゆくは実現したいと考えている。学校図書館とのネットワークについては、すぐに実現するのは難しいので今後の課題としたい。</p>
事務局	<p>③「第2次所沢市図書館ビジョンの成果と課題（3.読書を支える、4.地域を支える）」について説明。 「基本目標3.読書を支える」については、（1）読書活動の推進、（2）読書環境の向上、（3）図書館利用の促進、（4）図書館利用が困難な市民への</p>

事務局	<p>サービス提供、（５）読書活動に配慮が必要な市民への支援の５つの事業施策で構成されている。</p> <p>取組と成果としては、コンビニエンスストアや小手指公民館分館で図書等の取次を行い、開館時間内での利用や来館が困難な市民に対し、利用機会の拡大が図られた。</p> <p>高齢者ケアに役立つ本や大活字本のリストを作成して、来館者や高齢者施設等に配布するとともに、施設や地域の集会所で出張おはなし会を実施し、高齢者の読書活動を支援するとともに、世代に応じたサービスの充実が図られた。</p> <p>視覚障害者への対面朗読や、点字図書館等と連携した DAYSY 等の録音図書の貸出を実施した。</p> <p>課題としては、読書活動に障害や困難のある市民や、図書館への来館が困難な条件にある市民へのサービス等を資料のデジタル化や電子図書館等の推進なども含め、充実させる必要がある。</p> <p>郵送貸出など、視覚障害者以外の方へサービスを拡大する必要がある。</p>
事務局	<p>「基本目標４．地域を支える」については、（１）所沢ゆかりの郷土資料の収集・整備、（２）地域の活性化・課題解決支援、（３）市民ボランティアの育成と連携の３つの事業施策で構成されている。</p> <p>取組と成果としては、郷土資料及び行政資料等について、資料保存の必要性を周知し、貴重資料の提供を働きかけ、収集と保存を進めた。</p> <p>毎年所沢図書館まつりの時期に所沢ゆかりの作家・著者一覧を作成し、配布を行った。</p> <p>課題としては、所沢ゆかりの郷土資料を継続して収集し、電子データ化等最適な方法での保存を検討する必要がある。</p>
会長	<p>質問、意見、その他課題はあるか。</p>
委員	<p>音声資料ユーザーについて、全体に占める利用率がどのくらいあるのか。来館された時にデイジーを視聴できる機器が分館にも設置されているのか。機器の対応ができる職員はいるのか。</p>
事務局	<p>デイジーの再生機器について、最近来館された方に使い方の説明をしたことはある。本館に１台あるが、分館には所蔵がない状況である。デイジー図書は全国から取り寄せて提供している。</p>
委員	<p>職員に対する研修はないのか。</p>
事務局	<p>県や国主催の研修に毎年参加している。音声資料の貸出については、昨年度は８５８件の利用があった。全体に占める割合は把握していない。</p>
委員	<p>視覚障害者以外のサービスについて、具体的に要望があったのか。</p>
事務局	<p>今年度は２名ほど問い合わせがあった。</p>
委員	<p>視聴覚の障害に限定されている。図書館の居心地については健常者を想定し</p>

事務局	<p>がち、と芥川賞作家の市川さんの本にもあったが、全ての方が利用できる図書館をアピールする必要がある。</p>
事務局	<p>障害のある方も含めてすべての方にいかにサービスを提供するかが大事である。様々な状況の方への対応についても、今後模索していきたい。</p>
委員	<p>高齢者サロンの活動をしているが、高齢者向けの本が増えたと感じている。国立リハビリテーションセンターでは最先端の研究をしているので、職員の研修などで連携していただきたい。読み聞かせのボランティアをしているが、現役の保護者のボランティアの参加が年々減少している。元保護者が活動しているのが現状である。交流会をしてもらえるといいと思う。</p>
事務局	<p>④「第2次所沢市図書館ビジョンの成果と課題（5. 未来を支える、運営全般）」について説明。</p> <p>「基本目標5. 未来を支える」については、（1）子どもの読書環境の整備・充実、（2）地域・学校等の連携による推進体制の整備、（3）子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発の3つの事業施策で構成されている。</p> <p>取組と成果としては、「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」に基づき、児童書の充実を図り、各種行事の開催やブックリストの作成等を行い、学校等関係機関と連携しながら子どもの読書活動の推進に取り組んだ。</p> <p>こども支援課、健康づくり支援課と連携し「ところっこ親子ふれあい絵本事業」を令和2年4月から開始し、健康診査時に絵本の読み聞かせを行い、図書館や子育て支援施設において絵本と交換できるチケットを配布したことにより、乳幼児期の読書機会の提供・充実が図られ、保護者や周囲の大人に、子どもの読書活動に対する理解や関心が高められた。</p> <p>課題としては、「本を全く読まない子どもの割合」を減らす等、引き続き関係機関と連携しながら子どもの読書活動の推進を図る必要がある。</p> <p>絵本の引換率を上げることにより、図書館の利用に繋げ、読書活動の推進を図る必要がある。</p>
事務局	<p>「運営全般」について、取組と成果としては、令和3年度に所沢図書館分館7館の指定管理者選定を行い、令和4年4月から第3期の運営を開始。運営状況確認のため、年4回定期的なモニタリングを実施している。令和4年4月より狭山ヶ丘分館において毎週木曜日午後7時まで開館時間を延長し、図書館利用の利便性が向上した。また、モニタリングによる点検・評価の実施により、安定した運営と全館均質のサービスを維持している。</p> <p>自動昇降機、外壁等の改修工事及び書庫消火設備改修工事等を行い、施設の延命化を図った。図書館設備の充実により、すべての人が利用しやすくなる環境となった。</p> <p>課題としては、モニタリングを行うにあたって、評価・指導ができる専門知識や経験を持った職員体制を確立すること。</p> <p>引き続き、老朽化した施設・設備の整備を進めていく必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、数値目標が達成されなかった指標がある。図書館全体で利用を増やす取り組みの工夫が必要。</p>

会長 委員	<p>質問、意見はあるか。</p> <p>児童サービスは専門的な研修が必要だと思う。本館のモニタリングの際に、本館の児童書の選書が良く、職員のスキルが高いと感じる。分館の研修はどのようにしているのか。</p>
事務局	<p>分館については、指定管理者が行うこととなっている。</p>
委員	<p>分館では外部の研修には参加しないのか。</p>
事務局	<p>毎月研修報告を本館に提出している。指定管理者でも児童サービス専門の研修をしているが、外部からの講師を呼ぶこともあるようだ。県主催の研修の参加については把握してない。</p>
委員	<p>能登半島地震で感じたが、災害に関するマニュアルが必要だと感じている。日頃の取組があれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>リスク対応マニュアルを作成している。災害に限らず、不審者対応や感染症対策についても項目立てをしている。災害時の本や読み聞かせが子どもたちの心の支えになると思うが、そのような取り組みに特化したマニュアルは作成していない。</p>
委員	<p>ところっこ親子ふれあい絵本事業について、絵本の引き換え率はどのくらいなのか。引き換え場所は増えたのか。引き換え場所まで行くのが大変で期限を過ぎてしまった、という声を聞いている。引き換えの期限はあるのか。また図書は年ごとに変更しているのか。</p>
事務局	<p>期限が過ぎた場合でも交換しないということはない。図書は年度ごとに変更はしていない。施設数は変わっていない。保育園、児童館、図書館など、市内全域にある。引き換え率は、3年間では33～38%となっている。ポスター掲示、健診の待合場所に動画で事業や引き換え場所の案内など、引き換え率向上の取組をしている。</p>
委員	<p>いわゆるブックスタートととらえてよいのか。</p>
事務局	<p>親子と地域をつなぐ役割をしているため、普通のブックスタートとはやや違っている。</p>
委員	<p>健診時に絵本を渡さないで引き換えとしている理由はあるのか。</p>
事務局	<p>チケットを渡して施設につなぐことで、孤立を防ぐのが目的である。</p>
委員	<p>支援センターに来られない人に向けた活動を広げたほうが良い。</p>
事務局	<p>⑤「第3次所沢市図書館ビジョンの基本理念・基本方針」について説明。 基本理念「図書館は市民文化の創造と発展を支える地域の情報拠点」。基本</p>

事務局	理念については、図書館としても、常に追い続ける到達点であり、拠り所としている概念であることから第3次ビジョンでも継続したいが意見等あるか。
委員	意見なし。
事務局	基本方針について、図書館としては、第2次はコロナ禍だった時期もあり、事業の施策目標は数値としては殆ど達成されていないことから、第3次ビジョンでも5つの目標として継続したいが意見等あるか。
委員	意見なし。
事務局	(2)その他 他に意見等はないか。
委員	所沢市は他市と比べて分館の数が多い。分館の職員の声が直接届かない。研修は指定管理者内部で行っている。現場の声が大切だと思う。どこの分館でどのような課題があるのか。数値目標を設定する時に各分館の地域性を取り入れた方が良いと思う。
委員	協議会に分館長も参加した方が良いと思う。
事務局	情報共有という意味で、毎月館長会議を開催している。また、モニタリングを通して各分館の状況を確認している。分館独自で利用者懇談会を開催している。担当者レベルでの定期的な会議も開催している。協議会への分館長の参加については今後協議していきたい。
事務局	4 報告事項 (1) 本館のLED修繕に伴う休館について 令和6年7月1日から2月28日まで閉館する。周知徹底を図りたい。臨時窓口の設置を検討している。
事務局	(2) 第4次子どもの読書活動推進計画について 前回の協議会でいただいた意見を反映した点について報告する。地域における読書機会の充実において、読み聞かせ等の出張について具体的な取組を加えて記載した。第3次計画成果目標達成状況の表記について、対象がわかるように文章を修正した。電子書籍の扱いについて文章を修正した。 パブリックコメントについて、12月21日から1月20日まで実施し、4名、2団体、30件の意見があった。内訳としては、第1章 はじめに関することに関する意見が1件、第2章 第3次計画における成果と課題に関する意見が6件、第3章 計画の基本的な考えに関する意見が1件、第5章 取組に関する意見が20件、第6章 数値目標評価指標に関する意見が1件、資料編に関する意見が1件であった。
事務局	(3) システム更新について

事務局	<p>2月13日から29日まで、システム更新に伴い閉館する。4月以降電子図書館とオーディオブックを試験的に導入する。</p>
事務局	<p>(4) 講演会について 3月15日(金)午後2時に3階集会室にて、津田梅子の講演会を開催する。津田塾大学言語文化研究所特任研究員の香川せつ子さんを講師にむかえる。定員は30名で、3月1日から受付する。</p>
事務局	<p>(5) 市民アンケートについて 11月から12月に実施した市民アンケートの回答状況を報告する。一般分2000件送付したうち、回答は685件。小学生は在籍数1019件のうち、回答は961件。中学生は在籍数529件のうち回答は470件。平成29年度と同程度である。高校生は今回所沢市LINE公式アカウントにより配信し、回答は193件。前回は212件であり、ほぼ同等である。現在集計作業中であり、結果は次回の協議会で報告する。</p>
事務局	<p>(6) 本館利用者懇談会について 1月13日(土)午前10時から3階集会室にて開催した。参加者は4名であった。具体的な提案をいただいたので参考にさせていただきたい。</p>
副会長	<p>5 閉会挨拶</p>